

「スポーツと開発」の協力推進支援業務

(公告/公示日：2022年11月 4日/公告番号：22a00725) について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
調達・派遣業務部次長(契約担当)

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P7	10-2. 技術提案書に関するプレゼンテーションの実施	12月13日(火)のプレゼンテーションの時間帯は決まっておりますでしょうか。決まっていない場合、プレゼンテーション実施者が海外渡航をしている場合に、ある程度の時差を考慮した時間帯決定を検討していただけますと幸いです。	基本的には当機構の通常の勤務時間帯(9:30~17:45)での実施を考慮しており、最終的に技術提案書をご提出いただく社数にもより決定いたしますが、特段の事情がある場合は、提案書の提出時点でご相談ください。可能な範囲で調整することを検討いたします。
2	P15	4. 業務の内容 (2) KMNの運営補助 ①各種会議の開催支援	会議案内の送付と出欠確認は、応札者が他業務でも利用している社内のEメールアドレスを使用して実施することは可能でしょうか。それとも本業務に当たり貴機構より無償貸与されることとなるパソコンを利用し、貴機構の会議招集システムを利用しなければならぬでしょうか。	会議については案内送付及び出欠確認は当機構から貸与するPCを使い実施することを原則とします。
3	P22	別紙：評価表(評価項目一覧表)	プレゼンテーションの実施は、この評価点のどこかに影響するかと考えておいてよろしかったでしょうか。	本案件では、プレゼンは技術提案書のポイントを説明いただくこと、それに対するJICA側からの質疑を主な目的としており、特定の評価項目とはなっていません。
4	P. 14	4. 業務の内容 (1) ① スポーツの効果に関する情報収集	国内の関連大学からの助言について、質問させていただきます。国内の関連大学(筑波大学、日本体育大学、大阪大学、広島大学等)の当4大学からの助言は必須であり、その他の大学については提案ベースで提示し、御機構と相談の上、取りまとめるという認識でよろしいでしょうか。また、選定する研究論文の数について想定がありましたら、ご教授お願い致します。	当該項目に示した大学は一例であり、同4大学から必ず助言をもらう必要はなく、その他大学についても排除するものではありません。また、論文数については当該項目で提示したスポーツの各効果につき最低でも2本以上を想定しています。
5	P. 14	4. 業務の内容 (1) ③ 開発途上国におけるスポーツの現状及び課題分析	現地調査を行う国および費用について、質問させていただきます。現地調査は2~3か国と記載がありますが、選定国につきましては、御機構へ提案のうえ、決定するものと認識しておりますが、間違いございませんでしょうか。現地調査に係る費用につきましては、2~3か国合わせて全て現地調査費として直接経費の2,000,000円を想定という認識でよろしかったでしょうか。	現地調査対象国については当機構に提案頂いた上で決定するという認識で間違いありません。また、費用についても2~3か国での現地調査費として直接経費の2,000,000円(税抜)を想定しているというご認識のとおりです。
6	P. 15	4. 業務の内容 (2) ② 勉強会及びセミナー・シンポジウムの企画・運営支援	勉強会及びセミナー・シンポジウムの企画・運営支援について、質問させていただきます。年間5件程度を想定されておりますので、当プロジェクトの期間を考えると約10回になると認識しております。当勉強会およびセミナー・シンポジウムの対象は、広く一般の方や企業などとなりますでしょうか。また、対面・オンラインまたはハイブリッドなどの希望がありましたら、ご教授お願い致します。なお、当費用につきましては、直接経費の200,000円を想定という認識でよろしいでしょうか。回数等から考えますと、外部有識者への謝金などで会議開催費を超えてしまう可能性があると考えております。例えば、開催場所について御機構内の会議場所の提供や機材協力などがありましたら、ご教授いただければと思います。	勉強会及びセミナー・シンポジウムについては、一般市民や企業など機構外に向けたもののみならず、機構役職員等に向けたものも想定しています。また、実施方法については内容や状況に応じて対面・オンライン・ハイブリッドを使い分けることを想定しています。なお、当費用については直接経費の200,000円(税抜)を想定という認識で間違いなく、開催場所や機材については当機構が所有するものであれば無償で提供可能です。
7	P. 15	4. 業務の内容 (3) ① 有識者の開発途上国への派遣 ② 開発途上国のキーパーソン招へい	有識者派遣及び開発途上国のキーパーソン招へいに関する費用について、質問させていただきます。派遣者および招へい者につきましては、御機構と相談を行い対象となる者を決定し、全体で4~5件の実施ということで認識しております。派遣および招へいに係る費用(例えば、渡航費や宿泊費、日当、交通費、食費、通訳費など)のすべては、直接経費の10,000,000円に含まれているということで、よろしかったでしょうか。こちらの費用に含まれない費用などがございましたら、ご教授いただければ幸いです。	派遣および招へいに係る費用(例えば、渡航費や宿泊費、日当、交通費、食費、通訳費など)のすべては、直接経費の10,000,000円(税抜)に含まれているという理解で間違いありません。
8	P. 16	5. 業務実施上の留意事項 (1) 業務量の目途及び業務従事者の構成および能力・経験等	業務量の目途について、質問させていただきます。業務量の目途として360人日として記載がありますが、この数字はあくまで目安としてであり、提案する側で業務の内容に合わせて業務量の増減の変化は、業務内容を問題なく理解している場合、問題はないでしょうか。	ご理解のとおりです。当機構から提示した業務を問題なく実施できる体制であれば目安として提示した360日からの一定程度の増減は問題ありません。

9	P. 16	5. 業務実施上の留意事項 (1) 業務量の目途及び業務従事者の構成および能力・経験等	業務従事者の構成について、質問させていただきます。業務総括者1名及び業務従事者1名の2名体制を前提に記載がありますが、これは業務内容に合わせて、業務従事者の役割を決めて複数名で対応することは問題ありませんでしょうか。	業務従事者を複数名としていただいても問題ございません。
10	P. 17	5. 業務実施上の留意事項 (2) 執務環境	業務従事者のJICA内における執務スペースの勤務希望について、質問させていただきます。こちらは、1名のスペースとなりますでしょうか。また、体制分(2~3名)の人数のスペースを確保いただくことは可能でしょうか。また、JICA標準パソコンの貸与について、こちらはリモートワークの対応は可能となるものでしょうか。	執務スペースについては1名分を想定していますが、相談の上、複数名の執務スペースを用意することも検討可能です。また、当機構から貸与するJICA標準PCについては所定の手続きを踏むことで外部持ち出し可能です。